

# 松山大学法学部学術研究会

**演題：**日本の政党政治はどのように発展してきたのか？—二つの憲法の下で

**講師：**前田 亮介 先生（北海道大学大学院法学研究科・准教授）

## 講演概要

日本近代政治史の若手を代表する政治学者の1人である前田亮介先生をお迎えし、大日本帝国憲法と日本国憲法を通観する政党政治の歴史的分析をお願いしたい。

戦前と戦後で、政党政治はいかに変容したのか、戦前と戦後を貫く、わが国政党政治の宿痾はあるのか、といった問いは、知的にスリリングであるだけでなく、今後の日本政治を考える上でも大いなる糧となるであろう。

コーディネーター：

松山大学法学部教授 遠藤 泰弘



講師：前田 亮介 先生の略歴

1985年 東京都生まれ

東京大学文学部卒業、2013年東京大学大学院博士課程修了、2014年より現職

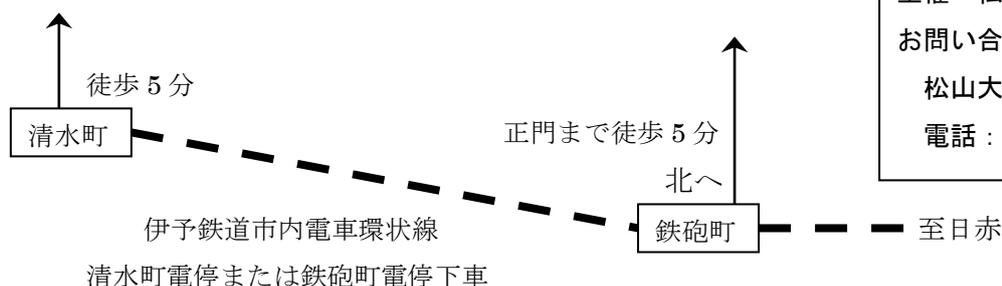
著書—『全国政治の始動—帝国議会開設後の明治国家—』（東京大学出版会・サントリー学芸賞受賞）、『戦後日本の学知と想像力—〈政治学を読み破った〉先に』（吉田書店）、他。

**日時：2022年 7月 4日(月)**

**14：15～15：45**

入場無料・参加自由

**場所：松山大学 東本館 7階会議室 2**



主催 松山大学法学部

お問い合わせ先

松山大学教務課 法学部担当

電話：089-926-7137（直通）